

# CASBEE® 広島

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮)西白島町今田ビル	階数	地上14F
建設地	広島県広島市中区西白島町16-14	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	95 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年1月 予定	評価の実施日	2020年7月13日
敷地面積	491 m <sup>2</sup>	作成者	寺川幸子
建築面積	225 m <sup>2</sup>	確認日	2020年7月13日
延床面積	2,678 m <sup>2</sup>	確認者	定森純一



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (276 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 36% (100 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 36% (100 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 36% (100 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境 (Q1のスコア= 2.9)

音環境	3.1
温熱環境	2.3
光・視環境	3.5
空気質環境	3.2

#### Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 3.0)

機能性	2.4
耐用性	3.1
対応性	3.6

#### Q3 室外環境 (敷地内) (Q3のスコア= 2.2)

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.3)

建物外皮の	3.0
自然エネ	2.0
設備インステ	3.8
効率的	2.9

#### LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 3.2)

水資源	3.4
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.3

#### LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.7)

地球温暖化	5.0
地域環境	3.0
周辺環境	3.2

### 3 広島市の重点項目

**重点項目の総平均スコア = 3.2**

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.5	スコア = 2.1	スコア = 3.1
<b>設計の計画上一特段に配慮した事項</b> // BEI=0.91 // 節水コマ・省水型便器の採用/グリーン購入調達品目またはエコマーク認定品を2種採用/解体時の分別が容易な工法を採用 / LCCO <sub>2</sub> 排出率36%	<b>設計の計画上一特段に配慮した事項</b> /	<b>設計の計画上一特段に配慮した事項</b> 長寿命外装材を採用/給排水配管材の主要上位3種のうち2種にB以上を使用しEは不使用 /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される